



広報

おぐに

私のおぐに楽

〜心を癒すおくりもの〜

のどかな田園風景が広がる山里で、ブナや山野草の
苔玉作りを楽しむむ仁科喜代子さん（松崎）。「こぶし咲
く 山のふもとの 一軒家」と詠みながら、この苔玉
を見て心が癒されるかたがいればと笑顔を見せてくれ
ました。

2006
NO.619

5



民生委員・児童委員を務めている3名のかたが、4月1日付けで、山形県警察本部長から小国町では初めてとなる高齢者交通安全指導員に委嘱されました。

委嘱されたのは、朝妻桂次郎さん（杉沢）、加藤忠さん（東原）、柴田重博さん（岩井沢）で、任期は1年間となります。高齢者交通安全指導員は、高齢者宅を訪問し、安全な歩行、横断の仕方、自転車の乗り方など、交通安全知識の指導や普及活動を行います。

4/1

交通安全の
知識を指導
高齢者交通安全指導員が誕生

白い森発

ぐるっと
情報局



4/6～

春の交通安全県民運動 整備された西踏切を通過して元気に登校

平成18年度春の交通安全県民運動が、4月6日から15日までの間行われ、町内では交通安全母の会など、関係者が街頭で交通安全を呼びかけました。

また、住民の長年の願いであった主要地方道五味沢小国線西踏切の拡張工事が3月24日に完了し、新入学児童も整備されて安全な通行が可能となった歩道を通って元気に登校しました。



シリーズ
私のふるさとへ

伊藤 康之さん
（東京都在住 河原角出身）



本を読んでいたら、次の文章が目にとまって考えさせられました。「米坂線沿いのブナの新緑は美しかった。まるで音が聞こえるかのようにいつせいに吹き出した新芽の舌が空にひるがえり、緑色の花が咲き、空気はその精気で香ばしいほどだった。」（多田富雄著「独酌余滴」）

一昨年の秋、高校時代のクラス会が高瀬温泉であって出席しました。帰路は越後下関駅から米坂線に乗り、米沢駅



4/15

そば打ち体験教室

金目そばの館4/29 営業再開

そば打ち体験教室が4月15日、金目そばの館で開催されました。

この教室は、地元に残る金目そばを伝承していきと、金目そば伝承会（齋藤和栄会長）が主催したもので、当日は15名の生徒が参加しました。

これまで休業していた金目そばの館は、4月29日に営業を再開、待ち望んでいたお客様は、久しぶりの味を堪能していました。金目そば伝承会では、定期的に教室を開催し、金目そばの味を守る後継者を広く育成する活動にも力を入れていきます。



4/18

健康な体をつくる
幸町老人クラブのわら細工愛好会が
足半(あしなか)を贈呈



幸町老人クラブのわら細工愛好会（横山達美会長）の会員約20名が制作した、足半40足の贈呈式が、4月18日おぐに保育園で行われました。

愛好会では、昔の履物を体験しながら、ワラのでこぼこでツボを刺激し健康な体をつくって欲しいと、毎年寄贈しているもので、今年で3年目になります。保育園では、4・5歳児が園庭で外遊びをするときに使用し、ワラのぬくもりを感じながら元気に遊んでいます。



で乗り換え山形の兄を見舞い、再び山形から実家のある小国町へ入りました。
車窓から周りを見ると、景観は、以前と比べると変化していました。中学校の修学旅行で瀬波に行ったことや、新潟・坂町経由の帰省などでこの米坂線を利用したことを懐かしく思い出しながら、一杯また一杯の楽しい小旅でした。
ところで、筆者が同書で言っていることを自分なりに考えると、自然と感ずてしまふものは、人間の手がかかった人工のものです。一見して自然と見えるが、実は人工で自然といわれるものは殆どありません。それを人間は自然と錯覚しています。
ふる里が栄え発展することは、自然と対峙して自然破壊を避け押さえながら、自然と共栄することが最善であることは言うまでもありません。人間と自然との関係を教訓に人間同志の関係も支配、被支配というものでなく、相互に共存し親和的であってほしいと願っています。

特集

小中高一貫教育

実践の検証と未来につながる一貫教育

平成十三年度から文部科学省の指定を受け、六年間にわたって研究開発に取り組んでいる小中高一貫教育は、今年度その最終年度を迎えることとなりました。そこで今月は、これまでの成果と今後の重点的な取り組みについて紹介します。

小中高一貫教育の あゆみ

本町の小中高一貫教育は、平成十年十月、小国中学校と小国高校が中高一貫教育実践研究協力校として、県教育委員会から指定を受けたことから始まります。その後さらに小学校を含めた十五校が文部科学省の小中高一貫教育研究開発学校として指定を受け、小中高が連携した一貫教育について研究を進めてきました。平成十六年度からは、さらに三年間の継続指定を受け、それまでの研究を基に、小国町にふさわしい教育環境の構築に向けて取り組んできました。



研究開発 実践による効果

国際・情報科目の設定

小中高一貫教育の柱でもある国際理解教育と、情報教育の実践においては、全国でも初の試みとなる、独自の特設教科「国際・情報」を設定し、



国際・情報教育のための独自の副読本を平成17年度に作成

平成十三年度からは必修教科として継続的な指導とその実践に取り組んでいます。小学校から高校までの十二年間にわたって国際理解教育や情報教育を系統的に位置付けることにより、児童生徒の学習意欲が高まっています。

交流学习

一貫教育の特徴の一つとして児童生徒はもちろん、指導者を含め小中学校と高校など、学校間での交流を実施しています。高校教諭が専門性を活かして小中学校で教えることは、児童生徒の興味や関心を高めることにつながっています。昨年度は、高校生が小学生にコンピュータを教える交流学习も実施しました。

また、生徒数の少ない小規模校では、インターネットを



テレビ電話を使った交流事業

使って情報の交換をしたり、テレビ電話での交流授業を実施しています。昨年度は、叶水・小玉川・白沼・玉川中学校の四校が実施しました。実際に授業を受けている叶水中学校の新野博貴さん（中二三）と石原実結さん（中二）にお話をお伺いしました。



新野博貴さん

新野 昨年度小玉川中学校の生徒とテレビ電話での授業をしました。普段は生徒が僕一人で、先生と一对一の授業です。「世界に目を向ける」というテーマの意見交換をしたのですが、普段では絶対にできない、「他の生徒の意見も聞く」ということができました。テレビ電話がもっと一般的になれば、特別なことではなく町外、海外のいろいろな学校と交流ができるようになるのではないかと思います。



石原実結さん

石原 地域の民話を学習したときに、テレビ電話を使って山形短期大学の先生に指導してもらいました。

それを小学生に読み聞かせるため、その方法についてもテレビ電話で指導を受けました。普段授業を受けている先生ではないので、初めはとても緊張しましたが、慣れてくると相手の顔をしっかりと見ることができなくなりました。実際に叶水に来ていただくだけでも、専門分野の先生から指導を受けることができとても良かったです。

英語教育とコミュニケーション能力の向上

小国高校のほか、町独自で教育委員会に外国人指導助手を配属し、小学校から英語の

指導を受ける機会をつくってきました。このことにより英語の発音に慣れ、外国人から直接その国の文化について学ぶことができるようになりました。

小国高校では、アメリカへの修学旅行を実施しています。「さらに交流を深めたい、学習したい」という、生徒自らの希望により、昨年度初めてアメリカ短期留学を実施しました。今年度も意欲的な生徒の短期留学を実施し、小国高の継続的な学習によって身につけた国際感覚を、具体的に活かすことができる環境づくりに取り組んでいきます。

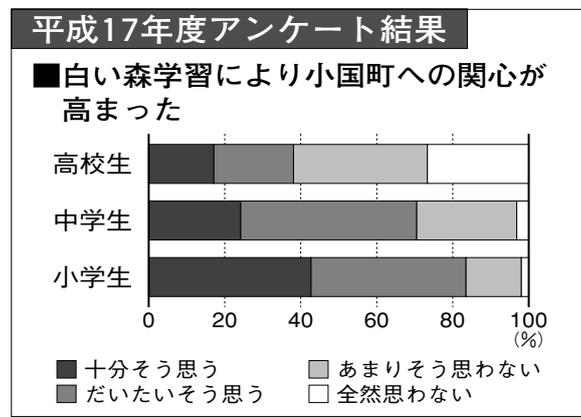
白い森学習

国際理解教育に取り組むうえで大切なことは、ふるさとのことを知り、そのことを相手にどのように伝えるのかを学ばなければならないという点です。そのためにも、全ての学校で自分の住んでいる地域のことを学ぶ、「白い森学習」に取り組み、その成果を

お互いに発表するという学習を行っています。

特色ある小国高校の教育

小学校から地域学習として「白い森学習」を設定することで、地域への関心の高まりが見られますが、一方で学年が進むにつれて関心度は低くなっている傾向にあります。これは、地域を見る観点や興味の質が変化しているためと思われ、地域学習の深まりや広がりを見込める段階に導いていく必要がでてきました。



今年度五十四名の新入学生を迎えた小国高校では、新しく一年生に「地域文化」という科目を設定し、これまで白い森学習の中で実践してきたことを、さらに他の地域にも広く目を向けた取り組みを行なっています。



4月13日東北芸術工科大学の菊地和博助教授が今後の取り組みについて心構えを指導

この地域文化では、七つのテーマについて小国と国内外を比較しながら調査を進めていきます。学習にあたっては、山形大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、宮城大学大学院、米沢女子短期大学から九名の先生が指導に

あたり、今年十一月にはその成果を発表する予定です。

さらに特色ある高校づくりを進めるため、三月二十日に山形大学工学部と共同研究に関する協定を結びました。この協定は、同校生徒が、同学校において研究活動を行うことを可能とするもので、夏季休業中を中心に一週間程度行われます。

地域に貢献できる

人づくり

地域の一員として行事やボランティアなどに積極的に参加し、地域に貢献できる人づくりを進めていくため、白い森学習や進路学習による職場体験、あいさつ運動などに取り組んでいます。

一貫教育では毎月第三月曜日を「あいさつ運動の日」と決め、保護者などの協力を得て、校内だけでなく街頭での運動も実施されています。

また、四月二十二日に行われた道路一斉清掃には多くの子どもたちが参加しました。



朝のあいさつ運動を実施

道路一斉清掃に参加した渡邊英雄さん（小国小坂町）は、「子どもたちが地域のかたがたとボランティアに参加するということは、自分の住んでいる地域のことを考えてみるいい機会になると思います。また、小学生から高校生までと一緒に参加をすることによって、さらに意欲が湧き、自分の住んでいる地域に対する思いも強くなっていくのではないかと思えます。」

地域行事に参加することでコミュニケーションが図られますので、さらに子どもたちが地域に貢献できるような機会をつくっていかねばなら

らないと思っています」と語られました。

今後の取り組み

国際・情報教育の一体化

一貫教育の柱である「国際・情報」の取り組みについて、今後の進め方を町小中高一貫教育推進協議会会長である、今正逸教育長は次のように語っています。

「本町は中山間地帯に位置するという地理的な条件もあり、普段は英語にふれ合う機会があまり多くありません。そのため外国人指導助手による国際や英会話の授業はもちろん、県内の外国人指導助手を招いて一泊二日の交流会などを実施し、生きた英語を学ぶ機会をつくってきました。平成十七年度の報告によると「英語を進んで話すようになった」と答えている



1泊2日で行われる「イングリッシュアドベンチャー」滞在中の会話は全て英語で行われる

小学生、中学生の割合が高くなっており、小学校からの継続的・系統的な取り組みの効果が現れているものと思えます。高校においても、短期留学やアメリカへの修学旅行などを実施していますが、「英語を使って積極的に自分を表現する」という意欲や楽しさを、もつと多くの生徒が実感できるよう取り組みが必要となっています。今年度は、コンピュータの活用と英語教育を組み合わせた学習プログラムの研究を進めながら、国際

理解教育と情報教育の一体的な指導に努めていきます。そのことにより、英会話力や情報活用能力を養いながら、国際理解への好奇心を高め、自信をもって自分を表現できる児童生徒の育成を目指します。」

本町にふさわしい教育の構築をめざして

小中高一貫教育研究開発事業の最終年度を迎えた今年度は、これまでの実践による効果を検証しながら、基礎学力を基に「国際・情報」教科のさらなる強化に取り組んでいきます。また、これまで取り組んできた六年間の研究成果を取りまとめ、今年十一月に発表する予定です。

町では今後も、将来の小国町を担う子どもたちを育てるため、地域とともに学ぶ環境づくりに一層努めながら、学校や地域社会、行政が一体となって本町にふさわしい教育環境の構築をめざしていきます。

ブナの森 温身平

森林セラピー基地に認定

ブナを中心とする森林に囲まれた本町は、森林セラピー基地としてふさわしい環境にあります。町では、これまで観光やレクリエーションとして活用されてきた森林を、新たな分野で生かしていくため、本町の温身平周辺を「森林セラピー基地」として認定を受けるため、平成十七年二月に申請を行いました。この度、全国二十七候補地のなかから、専門家による癒し効果の生理実験や、宿泊施設の整備状況

などの審査が行われ、本町を含む六カ所が森林セラピー基地として認定されました。



森林での実験の結果ストレスホルモンである唾液中のコルチゾール濃度が低下

温身平には、溪流の音を聞きながらブナ林の中を散策できる平坦な歩道があります。樹高三〇メートルを越える大木も多く、原生林の面影を残しています。



風景や香り、音色や肌触りなど、森のいのちや力を感じる

森林の持つ癒し効果を活用

小国町長 小野精一

この度、全国二十七候補地の中から「森林セラピー基地」として認定を受けたことは、今後本町が新たな森林の活用を展開していくうえで、大変意義のあることです。

現代のストレス社会において、森林浴がもたらす生理的リラックス効果に国民の関心や期待は高まっています。本町においては、森林の癒し効果の発揮のための条件整備、既存産業・施設、そして森林との関わりの中で培ってきた生活文化・技術の連携を図りながら、活力ある山村社会の構築を目指していかなくてはなりません。そのためにも、小国にしかない森林セラピーメニューを提供できるよう、環境の整備、活動プログラムの作成、温泉や食事などの活用、地域振興への発展などについて、段階的に議論を深めながら取り組んでまいります。

森林セラピーとは

森の自然があやなす風景や香り、音色や肌触りなど、森のいのちや力を感じることに、私たちの心身に元気を取り戻させようとするものです。

今までも、森はストレス解消などの効用があるとして、「森林浴」など多くの人々に親しまれてきました。しかしながら、森林浴については、その効用についての明白な科学的説明がなされていませんでした。一方、こうしたストレス解消効果などに対する人々の関心は非常に高くなってきています。このため、森林のもつ生理的リラックス効果などの「癒し効果」を科学的に解明し、その根拠に基づく健康増進やリハビリテーションのためのメニューを確立する「森林セラピー」を推進していこうとしています。

町内には温身平のほか、「おぐに郷土の森」や「針生平」、「健康の森横根」など全町に豊かな森林環境が広がっておりますが、歩道の勾配や森林セラピー基地として求められる面積条件などを考慮し、今回は温身平周辺を選定しました。



新たなスタート

小玉川・玉川の生徒がバス通学



小玉川・玉川の中学校が、四月から小国中学校に統合し、両地区の生徒が、バスによる通学を開始しました。始業式が行われた四月六日は、小国中学校の生徒会や先生方が出迎える中、不安と希望を胸に十一人の生徒がバスを降りました。

生徒の通学には町営バスのほかに、町教育委員会のスクールバス二台を用意し、部活動の時間など、生徒の登下校に合わせて運行されます。

町立病院内科に 佐藤智佳子先生



町立病院の内科に佐藤智佳子先生が就任し、四月一日から診察にあたられています。佐藤先生は、米沢市の出身で、平成十三年三月に山形大

学医学部を卒業後、同大学医学部附属病院、県立新庄病院、市立荘内病院、県立日本海病院で勤務されました。

「以前小国を訪れたときは、新緑の美しい初夏でした。これからあの時のような小国の自然風景が見られることを楽しみにしています。診察にあたっては、入院していた患者様の退院後の様子や、ご家族の介護に関する悩みなどの相談にのれるよう心がけていきたいです」と語られました。

臨時議会

第四回小国町議会臨時会が、

四月二十六日に開催され、税条例の改正などが審議され原案どおり可決されました。

税条例の主な改正内容として、個人住民税関係では、所得に応じて三段階に設定していた所得割の税率を、県民税を含めて一律十%にすることとしました。なお、所得税と個人住民税の合計額が、改正前より増額とならないよう減額措置を講じています。そのほか、固定資産税、たばこ税、軽自動車税についても地方税法等の改正に伴い一部改正を行いました。

国民健康保険税条例の改正については、介護納付金課税額に係る課税限度額を引き上げることとしました。また、国保税所得割算定の基礎となる公的年金等控除が引き下げになることにより、負担増となることから、平成十九年度まで経過措置を講ずることとしました。

*町ホームページにて詳細をお知らせします。なお、課税対象者には、個別に通知します。

花で町を元気に 商工会女性部が大匠表彰

小国町商工会女性部が、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

同女性部は、魅力ある地域づくりと地域の活性化をめざし、平成十年から「美しい街並みづくり事業」を展開してきました。平成十二年からは、国道113号沿いに「ピラミッド型フラワースタンド」を設置し小国町のPRと、町民や国道通過者の心を癒しています。また、小学生対象の花植え教室の開催など、美しい街並みづくりに取り組んでいます。



2006.3.19-4.2 私たちが学んだこと

小国高校の生徒

アメリカカベニス高校へ短期留学

昨年十一月に続き三月十九日から四月二日までの十五日間、小国高校の生徒二名が、アメリカカロサンゼルのベニス高校に短期留学を行いました。

小中高一貫教育で身につけた国際感覚を、具体的に活かす機会を得た生徒。現地の学校やホームステイ先での交流を通して学んできたことを紹介します。



齋藤 親さん

今回の留学を通して、コミュニケーションをとることの大切さを学びました。言葉の異なる人たちとコミュニケーションをとることはとても難しいことでした。

日本人のようにただうなずくだけでは私の気持ちが伝わらず、YESやNOなど自分の意志をはっきり言葉に出して表さなければいけないことも学びました。今後はアメリカの高校生のようにもっと自分の意見を積極的に言えるようにしていきたいです。



コミュニケーションをとることの大切さを学びました



私が今回の短期留学で学んだことは、もちろん英語です。授業での先生の英語とは全然違い、速すぎて全く聞きとることができませんでした。しかし、しばらくたつと話している単語の一つひとつが聞きとれるようになり、それに対して答えられるようになりました。ホームステイ先の家族も、先生も、みんな親切で2週間がとても短く感じました。今回、短期留学に行ったことで英語に自信がついたので、これからいろいろな場面で積極的に英語を使いたいと思います。

本場の英語に触れることができました



小関 優さん

厳しい財政環境や地域経済の状況などを踏まえ、簡素で効率的な行政体の構築に向け、「第三次行財政改革大綱」で掲げた項目について、特に目標年度を設定して計画的かつ具体的に取り組んでいくため、小国町集中改革プランを策定しました。集中改革期間の推進期間は、平成17年度から21年度までの5年間とし、平成22年4月1日までに第三次行財政改革大綱の実現を目指して取り組みを展開していきます。

第三次小国町行財政改革大綱

小国町集中改革プラン

= 重点事項 =

① 事務事業の再編・整理、廃止・統合

- 事務事業の見直し
- 補助金の適正化
- 公共施設等の適正管理

② 民間委託等の推進(指定管理者制度の活用を含む)

- 公の施設の管理委託に指定管理者制度を導入
- 法令で定められている業務を除き、積極的に民間委託を推進

③ 定員管理・給与の適正化

- 平成22年4月1日までの5年間で、現在の職員数より更に10%程度(約20人)削減
- 給料表の水準を引下げることや勤務実績の反映などによる給与構造の見直し
- 定員・給与等の公表を行ない、人事行政の透明性を確保

職員数の削減目標

(単位：人)

	一般行政職	企 業 職			技能労務職	合 計
		水道・工水	病 院	老人保健施設		
H17	124	3	53	13	8	201
H22	111	3	50	11	6	181
増減数	△ 13	0	△ 3	△ 2	△ 2	△ 20
増減率	△10.5%	0.0%	△5.7%	△15.4%	△25.0%	△10.0%

④ 財政の健全化

- 町税等収納率向上対策、受益者負担の適正化、遊休資産の有効活用による歳入の見直し
- 内部管理経費の削減、人件費の総額抑制による歳出の見直し

財政の中期展望

(単位：百万円)

	H17	H18	H19	H20	H21
財 源 不 足	△ 202	△ 255	△ 199	△ 181	△ 195
歳 入 確 保	204	208	99	112	149
歳 出 抑 制	108	147	101	86	61
財源対策合計	312	355	200	198	210

⑤ 人材の育成・確保

- 計画的で総合的な人材の育成に取り組むため、「小国町人材育成基本方針」を策定し、今後の適正な人事管理と職員研修の推進、職場環境の整備を図る

*小国町ホームページで全文を公表しています。

<http://www.town.oguni.yamagata.jp/>

6月4日(日)

消防演習

第1会場(町民広場) 8:30~

観閲、点検、部隊訓練、ポンプ車操法訓練、すみれ保育園園児による楽器演奏

第2会場(小国小坂町周辺) 10:30~

火災防ぎょ訓練

第3会場(小国小坂町) 11:00~

分列行進

第4会場(役場東側駐車場) 11:20~

講評、表彰式

*第2・3会場で交通規制が行われるほか、第2会場では放水が予定されています。会場周辺のかたは、通行規制や洗濯物に注意してください。

■問合せ先 町民課へ

募集

NHK公開収録参加者募集

NHKの番組に出演して下さるかたを募集します。

■日時 6月10日(土)開場13時~開演14時~

■場所 町民体育館

■番組名 NHK「BSあなたとエアロビック」

■内容 子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に体を動かすことのできるエアロビックをわかりやすく紹介する番組です。

■対象 軽い運動ができるかた
■申込・問合せ先 町民体育館またはNHK山形放送局(☎023-625-9510)へ

生涯学習支援事業

地域や団体が生涯学習に関する学習会や講演会を開催する場合に、講師謝礼の一部を負担します。

■負担額

町外の講師 2万円以内
町内の講師 1万円以内

■対象 参加者が10人以上の学習会や講演会

■講師選定 主催団体が選定、依頼手続をさせていただきます。

■申込・問合せ先 教育委員会事務局へ

(財)小国町文化振興基金 助成事業募集

今年度開催される文化振興事業

等に対し、助成を行います。

■対象事業 平成18年7月1日から平成19年3月31日までに予定されている事業で、次のいずれかに該当する事業

①各種音楽、演劇等の公演、鑑賞事業

②各団体、サークル創作活動発表事業

③文化財の保護活動事業

④青少年の健全育成事業

■対象 次のいずれかに該当する団体等(個人を含む)

①小国町民を主体とした団体等

②小国町民を対象とした事業を行う団体等

■助成額 総額30万円以内

■申請期限 6月9日(金)

■申込・問合せ先 教育委員会事務局へ

町営住宅入居者募集

▼あけぼの団地

A103 2DK 1戸

A302 3DK 1戸

■対象 同居する親族があり、住宅に困っているかたで、平成17年の所得額が月額20万円以下のかた

■募集期間 5月8日(月)~5月12日(金)

森林トレッキング

▽Aコース 石転び沢大雪溪とセラーピーの森へ

■日時 6月22日(木)7時30分~

■内容 梅花皮沢トレッキング、そして癒しの森へ

▽Bコース 魅惑の花園大田湿原へ

■日時 7月8日(土)7時30分~

■内容 西吾妻トレッキング、そして可憐に咲く花との出会い

■申込期間 6月1日(木)~9日(金)

■参加費 3千円

■申込・問合せ先 置賜森林管理署(☎62-2246)へ

お知らせ

火災報知器の設置が必要となります

■新築住宅 平成18年6月1日以降の新築住宅には設置義務が生じます。

■既存住宅 平成23年5月31日までに設置しなければなりません。

■問合せ先 西置賜行政組合消防本部(☎88-1797)へ

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 5月2日・9日・16日・

23日子育て講座「山菜料理に挑戦」・30日・6月6日

■時間 10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

5月18日

5月11日・25日

総合センター
おぐに保育園

■時間 10時～11時30分
■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆ごども愛ランド☆

■日時 5月13日(土)

■時間 10時～12時30分

■場所 健康管理センター

■内容 リズム遊びと

しゃぼん玉

■申込期限 5月10日(水)

■対象者 おおむね2歳からのお子さんとお家のかた

*詳しいことは子育て支援センター(☎62-2330)へ

相談

年金相談

■日時 6月21日(水)10:45～14:30
※受付9:00～
■場所 役場町民相談室
■問合せ先 町民課へ

弁護士無料法律相談

■日時 6月1日(木)10:00～15:00
■場所 総合センター
■申込期限 5月26日(金)まで
■申込・問合せ先 町民課へ
*申込み多数の場合は次回になることがあります。

人権相談

■日時 6月1日(木)10:00～15:00
■場所 総合センター
■相談員 人権擁護委員・法務局職員
■問合せ先 長井人権擁護委員協議会(☎88-2587)へ

求人情報

左の表は4月11日現在の新規求人
の内容です。無効になっている場合
もありますので了承ください。この
ほかの求人情報は、ハローワーク長
井(☎84-8609)へ

☆雇用相談室からのお知らせ☆

4月1日から開設時間及び相談員
が下記のとおり変更になりました。

曜日	相談員
月	馬場高子相談員
火	産業振興課職員
水	本間英祐相談員
木	産業振興課職員
金	高野孝相談員
相談時間	9:00～12:00 13:00～16:00
相談場所	役場2階雇用相談室

■問合せ先 産業振興課へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
アクサ生命保険(株)長井分室	5人	営業	20～59	9:15～17:00
(株)コメリ新潟地区本部	20人	販売員	18～30	9:00～18:00(ほか)
(有)小国技研	2人	洗浄工	25～65	8:00～17:00
翔礼交通(株)	1人	貸切バス運転手	不問	9:00～18:00
(有)ヤオコ一	5人	検査工・組立工	20～50	8:15～17:00
介護老人保健施設温身の郷	1人	栄養士	20～50	8:30～17:15
小国町森林組合	3人	販売・作業員	不問	8:00～17:00(ほか)
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	営業	25～55	9:10～16:50
猪野電気工事(株)	2人	作業員	18～35	8:00～17:00
アペプランニング	2人	サービス・役務係	不問	8:00～17:00
(株)斉藤建設	1人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
備コンスカンパニー第一ホール小国店	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30(ほか)
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	生涯設計デザイナー	20～50	9:00～17:00
ヤマト運輸(株)山形長井センター	2人	ドライバー	20～40	8:00～17:00
山和建設(株)	5人	建築施工管理技士・土木作業員・土木施工管理技士	18～55	8:00～17:00
(有)蔵王ストア一	2人	店員・販売員	不問	8:45～18:00
ひさご電材(株)小国工場	5人	製造・加工	不問	8:30～17:30
(株)横川建設	9人	土木作業・4tユニック運転手・営業・土木施工管理技士・事務員・重機オペレーター	不問	8:00～17:00
大河内産業(有)	7人	ダンプ運転手・プラント運転手・事務員	不問	8:00～17:00
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～17:45
(株)アイライン米沢センター	10人	製造・加工	不問	8:30～16:40(ほか)
酒味庵まつばら	1人	店員	不問	17:00～21:00(ほか)
社会福祉法人 小国町社会福祉協議会	5人	ホームヘルパー・事務員	20～50	8:30～17:15
ファミリーマート小国町店	1人	店員	不問	0:00～8:00

保健カレンダー ■問合先 健康福祉課へ

月日	検診内容	受付時間	対象	場所
6/16	1歳6カ月児健康診査	12:30~13:00	16年10月~12月生まれ	健康管理センター *持ち物 母子健康手帳、問診票 (4カ月児、1歳児健康診査は除く)
6/28	ポリオ予防接種	13:00~13:30	17年6月~12月生まれ	
6/30	4カ月児健康診査	13:00~13:15	18年2月生まれ	
	1歳児健康診査		17年6月生まれ	

人間ドックの費用を助成します

健康福祉課では、人間ドック検診料の3分の2を助成します。

■問合先 健康福祉課へ

検診名	宿泊人間ドック	1日人間ドック
定員	30名(定員になり次第締め切ります)	60名(定員になり次第締め切ります)
助成額	検診料の3分の2	検診料の3分の2
自己負担額	男性 21,000円(検診料 63,000円)	男性 10,500円(検診料 31,500円)
	女性 21,700円(検診料 65,100円)	女性 11,200円(検診料 33,600円)
対象者	町内に住む30歳以上のかた。 ただし勤務先などで宿泊人間ドックを受けるかたは対象になりません。 また、昨年度宿泊人間ドックを受診された方は対象になりません。	国民健康保険に加入していないかたで、平成18年4月1日現在で次の年齢のかた 30歳、33歳、36歳、39歳、42歳、45歳、48歳、51歳、54歳、57歳、60歳、63歳、66歳、69歳、72歳
日程	5月29日(月)~	5月29日(月)~
申込先	町立病院へ	健康福祉課へ

みなさんの声をお寄せください

町長と語る日

■開催日と時間 毎月最終木曜日 9:00~16:00
(1回につき45分間)

*都合により日程変更する場合があります。なお、開催日については毎月広報でお知らせしています。

■開催場所 役場3階 町長室

■懇談方法 事前に電話などで予約をしてください。予約がない場合でも、来客がない場合は懇談することができます。なお、懇談の席上には総務企画課の担当職員が同席させていただきます。

■申込・問合先 総務企画課へ

町長室専用ファックス

ファックス番号 ☎62-2611

町長専用電子メール

メールアドレス

shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

*いずれも随時受け付けています。

健康サポーター養成講座

高齢者の心の健康づくりや適切な運動の方法を学びながら、地域に広める指導者を養成します。

■日程 6月7日~10月25日 午前9時30分~11時30分(計12回)

■場所 健康管理センター

■対象者 健康づくりに関心のあるかた

■講師 運動指導講師・快フィットネス研究所 小池敏子氏

心の健康講師・ヒューマンメンタルヘルス研究所 我妻淳一氏

■参加費 無料(ただし、障害保険料180円が必要です)

■申込期限 5月26日(金)

■申込・問合先 健康福祉課へ





総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◇夢のカルテ 高野 和明
- ◇パリよこんにちわ 林真理子・他
- ◇アンボス・ムンドス 桐野 夏生
- ◇脳内汚染 岡田 尊司
- ◇私一人 大竹しのぶ
- ◇義経を討て 童門 冬二
- ◇子育てハッピーアドバイス 明橋 大二
- ◇愛のギャグ弁 霞 ん
- ◇ねこのチョコレート B・Kウィルソン
- ◇キリンさん まど みちお

※ほか多数入荷しました。

今月の休館日：5月3・4・5日の祝日、
ほか毎週月曜日

町政懇談会を開催します

各地域や団体のかたがたから身近な課題などをお聞きし、町づくりについて意見を交換する町政懇談会を開催します。

■対象団体

各地区の自治会、婦人会、老人会、スポーツ・文化団体などで、話し合いにより、交流と理解を深め、町づくりに積極的に参加する意欲的な団体

■開催方法

○懇談会には、町長、助役のほか、テーマに関わる担当課長が出席します。

○会場の設定や進行は、各団体にお願います。

■申込・問合先 総務企画課へ

母子家庭等修学費を支給します

母子家庭または父子家庭で児童を育てているかた、父母ともにいない場合で、親に代わって児童をそだてているかたに、母子家庭等修学費を支給します。支給期間は児童が小学校、中学校、高等学校のいずれかに在学している期間となり、所得制限があります。また、毎年家庭状況などの確認のため現況届を提出していただきます。

■問合先 健康福祉課へ

情報公開制度の運用状況

平成17年4月1日～18年3月31日

■請求件数 20件

(内訳)町 20件

■全部公開 10件

■部分公開 5件

■非公開(不存在を含む)

■異議申立件数 0件

個人情報保護制度の運用状況

個人情報登録件数533件

(平成18年3月31日現在)

■内訳

○町 448件

○選挙管理委員会 16件

○農業委員会 16件

○議会 3件

○教育委員会 37件

○監査委員 12件

○固定資産税評価委員会 1件

■問合先 総務企画課へ

火の用心 森の恵を 未来まで

春の山は、乾燥して山火事が発生しやすくなっています。タバコや火の取扱いには特に注意し、地域の美しい山々を大切に守っていきましょう。

山火事を発見したら一報を！
消防小国分署 119
置賜森林管理署 ☎62-2246

5月12日は 民生委員・児童委員の日です

- ◎みなさんがかかえる問題について、みなさんの立場にたって親身に相談にのります。
- ◎お気軽に地区の民生委員・児童委員に連絡ください。秘密は守られます。

■問合先 民生委員・児童委員協議会事務局
(小国町社会福祉協議会内 ☎62-2825) へ

輝けおぐにっ子

小国町の未来を担う子どもたちそして、その成長を支える家族や地域のかたがたの思いを、子育て支援センターの活動を中心にシリーズで紹介します。



木口 欄世(らんぜ)ちゃん(8カ月)
早織さん(田沢頭)

シリーズ
1

～子育て支援センターの利用～

子どもが生まれる前の両親学級や、出産後の健診で子育て支援センターのことを知り、4月からあそびの広場に参加しています。家にいれば、日中は子どもと2人きりになってしまうのですが、ここに来ると同じ年代の子どもがたくさんいます。ですから人見知りをしなくなるといいます。また、家の外に出ることは私にとっても息抜きの場になりそうです。自分が保育園の時にお世話になった先生が支援センターの担当ということで、不安に思ったことなどをすぐ相談しています。お母さんたちとも仲良くなって、育児に関する話をたくさんしたいと思います。

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

- | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|------|
| 小国町 | 佐藤 | 泰希 | (浩都) | 昌子 |
| 兵庫館 | 宮阪 | 颯 | (亜裕) | 希和子 |
| 岩井沢 | 勝見 | 健太 | (けんた) | 淳 |
| 町原 | 渡部 | 綾弓 | (あゆみ) | 美浩 |
| 緑町 | 舟山 | 凧海 | (なみ) | 香也 |
| 兵庫館 | 三島木 | 乃唯 | (のい) | まどか |
| 岩井沢 | 佐藤 | 遥 | (はる) | 千枝子 |
| 小国小坂町 | 野沢 | 渚 | (しゅう) | 一弘樹 |
| 小国町 | 丹 | 麻里花 | (まりか) | 学奈緒美 |

結婚おめでとうございます。

- | | | | |
|-------|----|---|----|
| (兵庫館) | 渡邊 | 貴 | 之子 |
| (米沢市) | 佐藤 | 桂 | 行美 |
| (玉川) | 伊藤 | 知 | |
| (杉沢) | 佐藤 | 恵 | |

おくやみ申し上げます。

- | | | | | |
|-------|----|-----|-----|------|
| 種 | 沢 | 加藤 | 晃太郎 | (85) |
| 幸 | 町 | 藤岡 | 忠雄 | (82) |
| 沼 | 沢 | 後藤 | 藤助 | (91) |
| 針 | 生 | 渡部 | 儀一郎 | (68) |
| あ | け | 杵淵 | ヒナ | (68) |
| 岩 | 井 | 加藤 | みさほ | (78) |
| 栄 | 町 | 齋藤 | 清男 | (83) |
| 小国小坂町 | 佐藤 | 藤とら | よ | (86) |
| 片 | 貝 | 山 | 貞子 | (70) |
| 東 | 原 | 伊藤 | 敏男 | (76) |

人口のうごき

人口 男…4,718人(-63)
女…4,998人(-54)
計…9,716人(-117)
世帯数 3,242世帯(-41)
平成18年3月31日

編集後記

小国でもようやく春の訪れを感じられるようになってきました。フクジュソウ、カタクリ、シヨウジョウバカマ…。冬の間ひと休みしていた大地が動き出し、かわいらしい草花が顔を出しています。さて、広報担当になって二年目を迎えました。取材に出会ったかたがたから「二年目だが慣れだべ」と声を掛けていただきましたが、あいかわらず、迫ってくる締切日との戦いでした。締切に追われることのないようにしたいと心の中で誓いを新たにしました。(舟山)